

家庭から川や海をきれいに

私たちは主に河川の水を水道水として利用し、使用後の水は再び川や海に流れ、くり返し使っています。家庭から出る生活排水には多くの有機物が含まれています。川や海の水質を守るために、私たちはどのようなことに気をつけていけばよいのでしょうか。

川や海の水を汚さないために

水質汚染の大きな原因のひとつに生活排水があります。川や海の水を汚さないためには、汚れた水をそのまま流さないようにすることが大切です。

右の表は、魚がすすめる水質にするのに浴槽(300リットル)何杯分の水が必要となるかを示したものです。

※水の汚れ具合を表す「BOD」とは…「生物化学的酸素要求量」のことで、微生物が水中にある有機物を分解するときに消費される酸素の量を示す指標です。この値が高いほど水中に有機物が多く含まれており、水質が悪化していることを意味します。

汚れた水を魚がすすめるくらいの水質に戻すには、たくさんの水が必要だということがわかります。

汚れの原因	汚れ具合 (BOD)	魚がすすめる程度の水質にするために必要な水の量
天ぷら油 使用済み (20ml)	30g	 × 20杯 浴槽
マヨネーズ 大さじ1杯 (15ml)	20g	 × 13杯 浴槽
煮物汁 肉じゃが (100ml)	5g	 × 3.3杯 浴槽
シャンプー 1回分 (4.5ml)	1g	 × 0.67杯 浴槽
台所洗剤 1回分 (4.5ml)	1g	 × 0.67杯 浴槽

今日からできる暮らしの工夫

日常生活の中でできる、生活排水をできるだけ汚さないための工夫をご紹介します。

●台所での対策

揚げ物に使った油は再利用するか、ペーパーに吸わせてから捨てましょう。

排水口ネットを使用して野菜の切りくずなどが流れないようにしましょう。

食器を洗う前に汚れを拭き取ることで、洗剤の使いすぎを減らすことができます。

●洗濯・お風呂での対策

洗剤やシャンプーは適量を守り、節水を意識しましょう。環境に配慮した製品を選ぶことも効果的です。また、髪の毛や汚れを流さないように排水口ネットを使うなど工夫をしましょう。

●トイレでの対策

トイレットペーパーの使用量は必要最小限に抑え、定期的に清掃を行い、強い洗剤を使わなくても衛生的な状態を保つようにしましょう。



家庭での小さな工夫の積み重ねが、環境保護に大きく貢献します。日常生活の中でできることを実践し、持続可能な未来を目指したいですね。

引用：環境省「生活排水読本」

引用：埼玉県「家庭でできる生活排水対策」